



ニュースリリース 平成 27年 11月 9日

「地域密着型金融の取り組み状況」に関するお知らせ



常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、お客さまへの最適な金融商品・サービスの提供を通じ、地域経済の活性化に貢献するため、「地域密着型金融の取組方針」を策定し、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」、「中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「持続可能な地域経済への貢献」の3つを重点項目として各種施策に取り組んでおります。

また、当行では、第12次中期経営計画(計画期間:平成26年度~28年度)の基本戦略の中核に据えた「協創力の発揮」に向け、総合金融サービスの提供を通じ、社会・経済構造の変化に伴う地域の課題をお客さま、地域の皆さまとともに解決していくため、平成26年4月に「未来協創プロジェクト『PLUS+』」を立ち上げ、当行グループ一丸となって推進しております。

このたび、平成27年度上期の取り組み状況を取りまとめましたので、別添の通りお知らせいたします。

今後とも、地域の中核金融機関として、政府と地方自治体が一体となって推進する「地方創生」の一翼を担い、地域経済の活性化に取り組むとともに、「地域密着型金融への取り組み」の充実を図ってまいります。

(詳細は、別添「地域密着型金融の取り組み状況」をご覧ください。)